女子決勝

宮本　68　合計　39　三田

1 1 1 Q 1 0

2 3 2 Q 1 3

1 8 3 Q 8

1 6 4 Q 8

［評］三田中のボールで試合開始。両チームともディフェンスはハーフコートマンツーマンでスタートした。先制点は宮本中⑰石井の3Pシュート。その後は両チームとも得点を重ね、第1Qは11－10と宮本中リードで終了した。

第2Qでは、宮本中が⑦石田の6得点をはじめとして23得点を積み上げ猛攻を見せた。それに対し、三田中も④西が7得点を挙げるなど奮起したが、13得点に留まり、34－23で前半を折り返した。

第3Qも宮本中の攻撃の勢いが止まらず、④鈴木のフリースローに始まり開始4分で10得点。三田中がタイムアウトを取った。タイ

20×20

ムアウトが明けると、三田中⑬穂積の3Pシュートなどで反撃の兆しを見せ、52－31で最終Qに望みをつなげた。

第4Q開始、宮本中⑥松本のジャンプシュートから始まり連続6得点。三田中は後半2回目のタイムアウトを使用し流れを変えようと試みたが、宮本中の勢いは止まらず、最終スコアは68－39で試合終了した。

宮本中のバランスの良いオフェンスが光った試合であったが、三田中の選手たちも必死にディフェンスをするなど最後まであきらめない姿勢を見せた。両チームの選手の健闘を称えたい。

20 × 20